

たのはた

2011
No. 533

8

一音入魂

7月31日に一関市で開かれる全日本吹奏楽コンクール岩手県大会。大会に挑む田野畑小
スクールバンド48人は、全員の心と音を一つ
にしようと練習に励んでいます。(写真はバ
ンド演奏を低音でしっかりと支えるチューバ
担当の有谷颯希さん・6年) 関連記事15頁

がんばろう!
田野畑

有事・地震・津波情報をいち早く！

全国瞬時警報システム J-ALERT

ジェイ・アラート

8月10日運用開始

全国瞬時警報システムは、国が発信する地震や津波、有事情報を人工衛星を通じて受信し、村の防災行政無線から一斉に皆さんに伝えることができるシステムです。屋外スピーカーと戸別受信機の両方から放送されます。

◆緊急地震速報
大地震が来る数秒前に放送されます。直ちに身の安全を確保し、危険な場所から遠ざかってください。ただし、震源が近い場合などは放送が間に合わないことがあります。
【放送例】チャイム音の後「大地震です。…」

もし放送が鳴ったら…

配信する情報は…
地震、津波、武力攻撃、弾道ミサイル攻撃や大規模テロ情報を自動で放送します。これらの情報は皆さんに緊急的に知らせる必要があるため、24時間いつでも最大音量で流れます。放送があった場合は落ち着いて行動し、その後の情報に十分注意してください。万が一、誤った情報を配信した場合は、訂正放送が流れます。

配信する情報は…

◆津波情報
海岸付近にいる人は高台に避難し、海岸には絶対に近づかないでください。テレビやラジオ、防災行政無線からの情報に注意してください。
【放送例】消防サイレンの後「天津波警報が発表されました。…」など
◆武力攻撃（ゲリラ・航空）、弾道ミサイル攻撃、大規模テロ情報
家などの屋内に避難し、テ

レビ、ラジオをつけてください。防災行政無線からの情報に注意してください。
【放送例】有事サイレンの後「ゲリラ攻撃情報。…」など
◆問い合わせ先：総務課（☎34-2111 内線12）

大津波警報が
発表されました。

緊急地震速報。
大地震です。

ゲリラ
攻撃情報。



村内外から約800人が参列し、大震災犠牲者に哀悼の意を表した

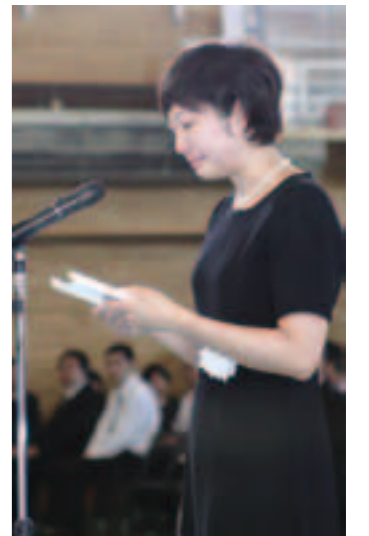
東日本大震災犠牲者お別れ会 約800人が犠牲者の安らかな眠りを祈った



献花を行い手を合わせた



津波犠牲者に黙とうをささげる



涙をこらえながらお別れの言葉

「お父さん、今、どこにいますか。大好きだった海や海岸線はどのように見えますか」。田鎖恵さん（旧姓・宮本）は島越出身。涙に震えながら声を絞り出し、津波の犠牲になってしまったお父さんに語り掛けるように別れの言葉を話し始めました。
7月10日、田野畑中体育館で開催した「東日本大震災犠牲者お別れ会」。村内外から約800人が参列し、犠牲者に哀悼の意を表しました。上机荒治村長は「復興への道のりは長く険しいものですが、新たな村に生まれ変わる、未来に向けた復興に取り組みることが最も重要です」と式辞。途中、津波注意報が発表され、消防団員が警戒にあたるため退席するなど、一時中断する場面もありました。
遺族を代表した田鎖さんは「津波を記憶から記録に替え、伝承していくことで未来の生命を守りたいと思っています」と別れの言葉を締めくくりました。
参列者は祭壇に献花を行い、手を合わせて津波犠牲者の安らかな眠りを祈りました。

村長からのメッセージ

3月11日の東日本大震災
大津波発生から4カ月が経過しました。住家が流出し、避難所暮らしを余儀なくされていた皆さんは、100日を超える長い避難所生活で心身共に疲れたと思います。そんな中ではありますが、7月上旬には仮設住宅入居を希望されていた皆さん全員が入居しました。

避難所開設の間、村内の皆さん、各自治会、そして全国や外国の個人・団体から物心両面にわたる多くの支援をいただいたことに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

村は、応急仮設住宅（高校団地、中学校団地、アズビィ団地）に入居されている皆さんとの話し合いを持ちながら、仮設住宅団地内のコミュニティの醸成、従前の自治会との関係持続など、より良い形づくりを進めて安心して生活できるよう努めています。

7月24日には村復興計画の素案を説明しました。これからは、皆さんからご意見をいただきながら新たな村づくりを進めていきます。

今後とも、田野畑村の復興にご支援いただきますようお願い申し上げます。



平成23年8月
田野畑村長 上机莞治

③生活再建（3分野）

▶住宅の再建

災害公営住宅の建設や住宅再建のための支援を推進します。また、低廉で快適な田野畑モデル住宅や再生可能エネルギーを活用した住宅などの検討も進めます

▶生活の安定

生活再建に際してのさまざまな課題やニーズに対応する各種支援制度および相談体制を充実します

▶保健医療・福祉・教育の充実

被災者の心身の健康を守るため、きめ細やかな保健活動や心のケアに取り組みます。また、将来を担う子どもたちの心のケアについては、学校、家庭、地域などと連携して取り組み、子どもたちの不安解消や情緒の安定化を図ります。学校教育では、震災の体験を踏まえた防災教育や復興に対する自己の在り方などを総合的に学ぶプログラムを進め、子どもたちの防災意識の高揚を図ります

④地域振興（5分野）

▶水産業の再建

漁船の安全な係留場所や漁船、漁具の早期確保に努め、今秋のサケ漁、来期の養殖ワカメ収穫に向けた作業などに早急に取り組むとともに、製氷貯氷施設や市場、海水殺菌装置、共同倉庫などの応急復旧事業、漁協の経営再建に取り組みます。また、漁業の新たな魅力を創出し活性化を図るため、水産業と観光の連携を推進します

▶観光業の再建

自然景観や観光客、観光ツアーの回復を図るため、被災した宿泊施設や体験施設および交通手段の早期再開を進めます。また、新たな観光資源や観光サービスの創造による通年の観光地化を進め、雇用創出と流通や経済の活性化など、村内産業全体の復興を牽引します

▶農林業の振興

村の地域特性を踏まえた生産性・収益性の高い農業を実現するため、放射性物質や津波による影響を最小限に食い止め、安全で安心な産物を安定して供給する産地形成を図り、担い手の育成を支援します

▶商工業の再建

被災地域の経済を支える中小企業などの事業再開や復興に向けて、きめ細かなサポートにより地域産業の振興を支援します

▶雇用の場の創出

被災により雇用情勢が深刻化しているため、緊急的な雇用の維持と産業振興による安定的な雇用の場の創出に努めます

■本年度実施する緊急的な取り組み

各基本方針に基づく取り組みの中には、既に実施しているもの、本年度中に実施するものがあります。本年度中に実施する「緊急的な取組事項」は次のとおりです。

防災の地域づくり

- 自治会活動支援
- 公園化や新たな漁業施設整備などへの活用
- 防災活動体制再整備、情報施設整備
- ライフラインの復旧および整備

生活再建

- 宅地造成
- 公営住宅の建築
- 生活資金の確保
- 産業の再建
- 社会生活基盤の復旧
- 地域コミュニティの再生

地域振興

- 漁港施設の復旧
- 漁船漁具の調達
- 養殖施設の復旧
- 漁業施設の復旧
- 観光施設の復興
- 地域コミュニティの再生

復興の
目指す姿は

～心をひとつに 未来に向けた復興～
「参加・協働・創造」によるむらづくり

村災害復興計画 復興基本計画(案)の概要

災害復興計画とは

3月11日に発生した東日本大震災から、4カ月以上が過ぎました。この大震災で、村は大きな被害を受け、災害の苦しみと犠牲者に対する深い悲しみが覆われました。しかし、私たちは、この災害から立ち上がり、活力ある村を再生しなければなりません。

村は4月28日、有識者による「東日本大震災田野畑村災害復興計画策定委員会」を立ち上げ、村災害復興計画のたたき台となる素案の取りまとめを行ってきました。

災害復興計画は、本村が災害に見舞われる以前の活力を回復させながら「未来に向けた復興」を目指すため、基本的な考え方、方針、工程などを明確にし、復興ビジョンを皆さんと共有するためのものです。

今回、広報で紹介するのは、災害復興計画の素案です。今後は、その素案を基に、村の皆さんの意見を十分に取り込みながら、村の総意として「災害復興計画」を策定し、新たな田野畑村の創造を目指して

いきます。

復興の目指す姿

安全で安心して生活を営むことができる地域づくりを目指し、未来に向かってさらに魅力ある地域の創生に努めていきます。

目指す姿を実現するための
四つの基本方針

- ① 未来に向けた復興
- ② 防災の地域づくり
- ③ 生活再建
- ④ 地域振興

①未来に向けた復興

被災前の状態に戻すという単なる復旧ではなく、さらに魅力ある新たな田野畑村に生まれ変わる「未来に向けた復興」という視点で取り組むことが最も重要。災害の苦しみと悲しみを乗り越え、みんなの英知を結集することによって、ふるさと田野畑の復興を必ず成し遂げましょう。

②防災の地域づくり（8分野）

▶新集落の形成

防災施設の整備を促進し、安全で安心な集落の形成を推進。被災を免れた住民との交流、連携、移転住民相互のコミュニティ維持や強化に配慮し、隣接集落との協調にも意を注ぎます。住宅の自主再建が難しい高齢者なども集落内に居住できるよう災害公営住宅を配置。高齢者などに配慮した集落形成を推進します

▶地域コミュニティの再生

震災前の地域コミュニティ活動などの維持に努め、応急仮設団地内と新たに形成する集落内でのコミュニティ醸成に向けた自主的な活動も支援。応急仮設団地内の集会施設を活用したコミュニティ活動と心のサポート活動を推進し、住民相互による互助意識の形成と不安の解消を図ります

▶被災地の土地活用

経験、教訓の伝承、水産、観光など産業の復興と基盤強化、地の利を活かしたエネルギー開発など、地域と住民の安全を守り、生活や心の豊かさを将来にわたり高めていくための土地活用を進めます

▶新防災対策

防災施設整備などの「ハード対策」と、新防災計画の

策定や防災活動体制の再整備などの「ソフト対策」を組み合わせた多重防災型まちづくりを進めます

▶災害記録の有効活用

この大震災による大津波の「被災記録」と「復興記録」を、将来起こりうるであろう災害への備えを万全なものとするための研究や、後世へ正確に伝え残す情報として生かします

▶社会生活基盤の復旧・復興

交通網の多重化や代替道路にも配慮した災害に強い道路整備を推進します。上下水道等の耐震性などの強化を図り、電気、ガス、通信施設などは、事業者と連携したライフライン機能の強化に努めます

▶海岸施設等の復旧・復興

新しい集落形成や道路・防潮林整備などと一体的に整備するなど、これまでの線的防護から面的防護の機能を強化した整備を進めます

▶三陸鉄道の復旧

三陸鉄道北リアス線全線の日も早い運行再開を目指し、鉄道施設の復旧・整備を進めます。また、駅の再開後には、観光事業や地域内外の人との交流拠点として、利活用を検討します



私たちは 3月11日を忘れない 伝えたい 伝えなければならない

私の津波体験 ④

3月11日に発生した東日本大震災からもう4カ月以上が過ぎ去りました。被災地のがれきの撤去はほぼ終了し、仮設住宅も完成。アズビィ避難所も7月4日に閉鎖しました。これからは復興計画を策定し、新たな田野畑村の創造を目指していきます。

今回の震災は、話したくない人、思い出したくない人もたくさんいると思います。それと同時に、体験した皆さん一人一人に、伝えたいことやそれぞれの思いがあると思います。

今回は畠山輝男さんと畠山くるみさんの2人に、貴重な体験を伺いました。村出身の畠山さんは滝沢村で被災。津波は体験しませんでした。村を思う気持ちは皆さん一緒です。

自然が牙をむく日は、いつやって来るかわかりません。皆さんの体験を伝えていくことが、多くの命や財産を守ることにつながると信じ、「広報たのはた」はこれからも皆さんの体験談を伺っていきます。



島越出身(旧姓・木村)
畠山 くるみさん(40)

駅や建物は津波で押し流され、漁港も姿を変えてしまったが、青い空、青い海は津波前と変わらずにそこにある



私の3月11日。ふるさと田野畑村への思い

私は島越出身で、現在は滝沢村で暮らしています。3月11日、朝8時ごろ、いつものように島越の母と電話。その日の予定やたわいな話をして、離れて暮らす父母が元気であることの確認です。父母の11日の予定は、兄と一緒に出掛けるとのこと、いつもより短めに電話を切りました。私は午後ひととき、洗濯物をたたみながらテレビを見ていました――。

その時です。グラグラと揺れ始め、どんどん大きな揺れに。2階で何かが割れる音、食器棚から皿が落ちる音、家中のあちこちで何かが壊れる音が響きました。そしてすぐにテレビも消えました。

揺れが少し収まったころ「津波が来る」その不安が頭をよぎりました。「島越の母たちが予定を変更して家にいるかもしれない……」。

電話を手に取りました。しかし、その時にはもう、電話はつながりませんでした。「安全なところに無事でいてほしい」とそれだけを考えていました。

その後、何度も何度も続く地震。遊びに行っていた下の子は青ざめて帰宅。中学生の上の子は下校途中の地震に驚き、友達同士で抱き合って恐怖に耐えました。主人は勤務先の福祉施設で、利用者のケアにあたっていたようです。

停電のため電化製品は何一つ使用できませんでしたが、ガスは大丈夫でした。夜に備え、ろうそくやライトを準備。寒さをしのぐためスキーウェアも着ました。余震が続く中、電話は不通、ラジオもなかったわが家は、なんの情報も得られないまま不安な夜を過ごしました。安否の分からない父母や兄、叔父母、友人たち……。とてもとても不安でした。

全く連絡の取れない父母たち。少しずつ入ってくる情報は悪い内容ばかりで、最悪の状態を思わせるものでした。子どもたちのためにも強くありたいと思いながらも、島越や父母のことを考えると、涙があふれて流れました。

携帯電話がつながるようになり、友人から島越が壊滅状態であることを聞き、さらに大きなショックを受けました。滝沢に住んでいても、私を支え、励ましてくれるのはいつも田野畑村、そして島越だったからです。私は、島越の自宅の部屋から見える、三鉄ホーム越しの青い海が好きでした。

幸い、父母や叔父母は無事でした。でも津波の犠牲になった人がたくさんいます。私は絶対忘れません。一生、ふるさとの復興を見守り、応援します。共に強く生きていこうと心から願っています。

恐ろしい津波。もっと怖いのは忘れること

3月11日の午後。岩泉高校田野畑校の生徒や教員、体験村たのはたのスタッフなど約25人で北山浜から南側に歩き、通称「ウサギ浜」の清掃活動。年末年始の大しけで浜に打ち上げられたごみ、遊歩道トンネル内の石や丸太などを協力して片付けていた。

その時、高い絶壁が「ガサーッ」と崩れ落ちてきた。砂地に立っていたためなのか揺れは感じず、地震だとは思わなかった。そのうち戦闘機が爆撃でもしたかのように、あちこちが崩れ落ちた。そして、辺り一面は土煙に包まれ真っ白になった。高校生は泣きわめく者、立てなくなってはいつくぼる者などいろいろだった。

少し落ち着き、「北山浜に戻るには危険かもしれない。遊歩道を避難して机浜に向かおう」ということに。ネイチャートレッキングのガイド経験がある自分が、高校生を誘導することになった。

なんとか机浜に到着し、高校生をバスに乗せて無事避難させることができた。実はこのとき、机浜で見た海は潮がものすごく引いていた。今考えると恐ろしい。

高校生を避難させ一安心。北山浜に止めてある自分の軽自動車を取りに戻るため、役場職員と一緒に車で県道を北山方面に向かった。

おみおしトンネルを抜け、北山浜が見える場所に差し掛かったとき、運転していた役場職員が海の異変に気付いた。道路脇に車を止め県道から2人で海を眺めると、ものすごい勢いで潮が引いていた。それを見ているうち、ものすごい勢いで津波が押し寄せてきた。太い木をバタバタとなぎ倒し、ガードレールも波にのまれてまるで紙テープやうどんのようだった。

津波の音の記憶はあまりない。でも色ははっきりと覚えている。押し寄せた津波は青くてものすごくきれいな渦。そしてひいていくときは真っ茶色な濁り水。

北山浜に止めておいた車は流された。命は無事だったが、もしあの時、車を止めて海を眺めていなければ…、机浜からおみおしトンネルを通って津波が来ていたら…、本当に助かるも助からないも紙一重なのだ実感した。

あの日以降、新聞でもずっと津波関連の記事が掲載されている。やはり、この津波の恐ろしさを忘れては絶対駄目だ。津波は恐ろしいけど、もっと恐ろしいのはそれを忘れてしまうこと。自分たちは生き証人。これからの人たちに津波の恐ろしさを伝えなければならない。経験した人全てに、その責任があると思っている。



地震発生直後のウサギ浜。地震で崖が崩れ落ち、辺り一面土煙に覆われた。幸いけが人はなく、全員が無事に避難できた



菅窪
畠山 輝男さん(63)

熱い夏

この夏、村の小学生と高校生が全国、そして世界を相手に勝負する。大きな戦いに挑む2人から目が離せない熱い夏がやって来る。



復活を遂げた県大会での気合の一投（写真提供：水沢一高陸上部）

下机 司 君 しもつくえ・つかさ

【Profile】水沢一高3年。同校陸上部所属。机小、田野畑中を経て水沢一高へ。ハンマー投げは高校入学時から取り組む。体の大きな選手に負けられないパワーあふれる投てきが持ち味。自己ベスト47m44。机出身、170cm92kg

ハンマー投げで全国に挑戦 順位気にせず納得いく記録目指す



水沢一高の陸上部で青春の汗を流す下机司君（3年）。6月17日から20日にかけて青森市で開催された第66回東北高等学校陸上競技大会のハンマー投げ競技で36人中6位に入賞し、この夏、東北4県で開催される平成23年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）への出場を決めました。

中学時代はバスケット部に所属。下北地区陸上では砲丸投げの選手としても活躍し、田野畑中の2年連続総合優勝に大きく貢献しました。中学時代の陸上合宿でたまたま出会ったハンマー投げ。その難しさや面白さに触れたことで、「高校では陸上部に入り、本格的にハンマー投げをやる」と決意。水沢一高、そして陸上部の道を選びます。

ハンマー投げの魅力は「6キロの鉄球に効率的に力を伝えることがとても難しい競技。投てき競技の中で一番難しいと思います。だから遠くまで投げた時は快感です」と話します。

現在は村を離れ、下宿生活を送る毎日。「中学生のときに若桐寮で学んだ経験が、今の生活で生かされていると思います。人としても大きく成長できたの

が寮生活での3年間です」。

司君は身長170^{センチ}、体重92^{キログラム}。ハンマー投げ選手として決して恵まれた体格ではありません。しかし、その体格差を補う三つの力を持っています。大きな選手にも負けないパワー、努力、精神力です。及川竜玄顧問は「司は3年間、毎朝の自主練習を行うなど、本校一番の努力家。誰よりも練習してきました。学校生活では応援団長としても活躍し、精神的な強さも持ち味です」と話します。

昨春秋に行われた記録会では47^{メートル}44^{センチ}の会心の投てきで自己ベストを更新。順調に記録を伸ばしていました。

そんな矢先の今年2月15日。冬期間のウエイトトレーニングで左手首を脱臼。競技を続けられない可能性もある大けがを負ってしまいます。「今までの苦労が無駄になってしまうと悪いなりました。でも、顧問やチームメイトに支えられ、復活できることだけを信じてリハビリを頑張りました」と振り返ります。

驚異的な回復をみせるも、投げる練習がほとんどできないまま迎えた5月27日の県大会。大きな緊張や不安の中、司君の投

げたハンマーは大空にきれいな弧を描く46^{メートル}58^{センチ}の投てき。奇跡の復活を遂げ、見事2位に輝きました。大けがを乗り越えたことで、何事もあきらめないことの大切さを学びます。

続く6月の東北大会では自己ベストにあと1^{センチ}と迫る47^{メートル}43^{センチ}の大投てき。選手生命を絶たれるかもしれない大けがから、わずか4カ月。悲願のインターハイ出場を手にします。

及川顧問は「司ならインターハイで自己ベストを大きく更新し、田野畑村の皆さんに元気を与えてくれるはずですよ」と期待を寄せます。

司君は「村は復興に向けて大変な時期だと思っています。自分の活躍が少しでも村の皆さんの活力になればうれしいです。奥州市に住んでいます。気持ち的には村の皆さんと共にあります。一緒に頑張りたい」と村へのエールも忘れません。

司君にとって最初で最後のインターハイ。「順位を気にせず自分自身が納得できる記録を目指します」と力強く語る司君。

パワー、努力、精神力を武器に、8月4日、5日、北上市で全国の猛者たちに挑みます。



田野畑中時代の同級生

奥地 康巨 君

おくち・やすのぶ（田野畑校3年）

陸上の県大会で久しぶりに会いました。中学生時代は明るい人気者。そして何をやるにも熱心な努力家だったので、やってくれと思っていました。これまでの努力が報われるように、精いっぱい頑張れ！ 田野畑校のみんなも応援しているぞ！

頑張れ!! 司

司君の母

下机 留美子 さん

しもつくえ・るみこ（50）＝机＝



司は先生や友達など、人に恵まれた子。皆さんには感謝の言葉しかありません。最後の試合が地元岩手でのインターハイ。司、皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、これまでの努力の成果を精いっぱい発揮下さい。競技会場で活躍を祈っています。



ミニバス日本代表に選出 得意のリバウンドでゴール下を制す

8月16日から22日まで、盛岡市などで開かれる日韓青少年夏季スポーツ交流事業。そのミニバスケットボールの日本代表（県選抜）に田野畑小6年の畠山玄君が選出されました。

この交流は、2002年に開催されたワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催を機に始まり、今回で15回目。親善と友好を深め、スポーツ振興を図ることが目的の事業です。

岩手県内各地から選出される代表選手。県内にあるミニバスチーム約80チーム、1300人の選手の中から、12人の代表選手に選ばれました。

村内のミニバススポ少「田野畑ライオンズ」に所属する玄君。ミニバスケットボールとの出会いは2年前の4年生のころにさかのぼります。

村内のミニバスケットボール大会に出場したときに見たバス

シュートもボールハンドリングもうまい。中（ゴール下）でのプレーも磨きがかかってきました。中も外もできるオールラウンドプレーヤー。これが玄の強みです」と牧原コーチは期待を寄せます。

8月20日、盛岡市で韓国代表との試合に臨む玄君。「代表に選ばれたのは、僕の努力だけじゃなく、チームメイトやコーチ、家族、支えてくれるみんな

ケ部の6年生がプレーしている姿。「とても格好良かったです。僕も6年生みたいになうまくなりたいたいなあと、思ってバスケを始めました」と振り返ります。

田野畑ライオンズの男子の部員は、1年生から6年生まで14人。週3回、田野畑小体育館で楽しく、そして真剣にボールを追いかけて汗を流しています。玄君は、そんなチームの副キャプテンとしてチームを引っ張っています。

コーチの牧原亨さんは「玄は、キャプテンをサポートしながら、よく声を出しています。練習も率先して取り組みますし、一生懸命です。頼りになる選手ですね」と信頼をおきます。

玄君は「バスケは1人ではできないスポーツ。全員で練習をしたり、試合をしたり、勝利を喜んだりできるのがバスケの面白さです」と話します。

のおかげです。田野畑ライオンズの代表として、全力でプレーします。そして、少しでも被災した皆さんに元気が戻るように一生懸命頑張ります」と目を輝かせ、ボールを追いかけてきました。目指すは韓国代表に勝つこと、そしてチームで一番得点を取ることに。

ゴール下の制空権を誰にも譲らない、体を張った玄君の熱い戦いが始まるうとしています。

難しさを訪ねると「試合中はコート上でほとんど走りっぱなし。体力をつけるのが難しいです」とはにかみます。

あこがれの選手は、日本人初のNBAプレーヤーの田臥勇太選手。「夢を実現するために本当に努力している人だから大好きです。そして目標です」。バスケを始めてからの2年間で、うまくなるためには努力が必要だということを学びました。そして、みんなが協力することの大切さにも気が始めました。

牧原コーチは「去年までの玄は、何でも自分が、自分がというプレーでした。6年生になって視野が広くなり、全体が見られるようになりました」と成長を感じています。

「勝負に対してものすごく貪欲。だから向上しようとする。いい意味で負けず嫌いなのが一番の持ち味ですね。そして、

畠山玄君
はたけやま・げん



畠山 玄 君

はたけやま・げん

【Profile】 田野畑小6年。ミニバススポ少「田野畑ライオンズ」の副キャプテン。バスケットは小学4年生から始める。得意なプレーはリバウンド。あこがれ


は日本人初のNBAプレーヤー田臥選手。将来の夢はプロバスケット選手。和野在住、161cm48kg

頑張り!!玄

田野畑ライオンズのキャプテン

熊谷 朋哉君
くまがい・ともや (田野畑小6年)


玄君のリバウンドはいつもすごくて、とても頼りになります。大会ではしっかり周りを見てプレーしてください。そして、たくさんリバウンドを取って活躍してほしいです。チームのみんなが応援しています。



田野畑小で玄君の担任

金子 裕輔 教諭
かねこ・ゆうすけ


運動好きで休み時間はいつも体を動かしていますが、クラスの中では少しおとなしめな性格。今回の選抜チームでは、心も体も一回り大きく成長してほしいです。クラスでその成果を発揮し、引っ張っていく存在になってくれたらうれしいです。



玄君の父

畠山 哲 さん
はたけやま・てつ (48) =和野=

選抜はとても光栄なことです。コーチやチームメイトに心から感謝しています。コートでは最後までボールを追う懸命な姿、ベンチではムードを盛り上げる姿を見せてほしいです。田野畑ライオンズを引っ張る存在に成長することを期待しています。



小さな村に住んでいても、小さな村の出身でも、大きな夢や目標に向かって努力することで、きっとそこに近づける——。

司君のインターハイ出場、玄君の日本代表選出、岩泉高校田野畑校放送部の全国大会出場はそのことを証明してくれました。

もちろん、周囲で温かく支えてくれる人たちの存在も重要です。

私たちもお互いを支え合いながら前を向いて進んでいきます。一歩ずつ、一歩ずつ。

第6回定例会

6月定例会は、6月17日に開かれました。一般質問は、佐々木芳利議員、中村勝明議員の2人が登壇、村の姿勢を質問。村長から提出された報告4件、承認1件、議案10件と議員発議案1件を可決しました。

【議決した主な議案等】

- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
 - ・死亡した者に配偶者等（配偶者、子、父母、孫、祖父母）の遺族がいない場合で、兄弟姉妹がいるときは、その者に対して災害弔慰金を支給するよう改正
- 東日本大震災に伴う村税の減免に関する条例
 - ・村民税については、大震災



佐々木 芳利 議員

〔質問〕津波により壊滅的な被害を受けた漁業の復興ビジョンを示されたい。

〔村長〕 今回の震災で水産関係は壊滅的な状態である。本村の基幹産業でもある水産関係の復興は大事であり、中心が水産および観光である。漁船関係は健在な船が50艘余りであり、漁船漁具の確保から始めなければならぬことにより、調達を早期の復興を目指しているところである。緊急的な対応は、秋サケ漁に向けた定置網、磯立て網の復旧、来春の採取に向けた養殖ワカメの施設の復旧および市場の機能回復、製氷施設等の回復である。うに、アワビ等の稚貝の放流等も含めながら浅海漁業の振興など努めていく。

〔質問〕 将来の計画と現在の行政区対応がどのように行われているか。

〔村長〕 羅賀・島越両方とも中心的な部分が被災したわけであったような状況にある。現在

に伴う、人的被害、住宅の損壊および仕事の休廃業の状況に応じて減免しようとする。固定資産税にあっては、災害により損害を受けた土地、家屋、または償却資産に損害があった場合に、税の減免をしようとする。

●東日本大震災災害復興基金条例
 ●東日本大震災に係る災害復興事業等の財源に充てる東日本大震災災害復興基金条例を創設

●繰越明許費繰越計算書の報告について（平成22年度一般会計予算）
 ・平成22年度に計上した予算でテレビ共同受信施設地上デジタル放送受信対策事業外9事業の繰越総額1億4768万8千円を23年度に繰り越すもの

●事故繰越し繰越計算書の報告について（平成22年度一般会計予算）
 ・東日本大震災により施工等に不測の日数を要したことから年度内に支出が終わらないことにより、児童館統合施設建築事業外16事業の繰越総額1億9701万3千円を23年

の当面の行政区の島越地区においては、仮設住宅および残っている地域等も含めて行政区・自治会とも一体として運営して参りたい。羅賀地区は、仮設住宅にも相当の世帯数が移っており被災しない方々との行政区、仮設住宅の行政区を2つに分けたというようなこともございませぬ。自治会の機能としては一つであるが、行政区とすれば2つで運営したいということである。今後どのような移転先を選択するかによつて、行政区のあり方も違ってくるものと考えている。

〔質問〕 震災後において、観光目的の来村者数は何人か。
 〔村長〕 震災後の観光客の入り込み状況は5月のゴールデンウイークを含めて前年対比で20%である。特に、5月のゴールデンウイークは非常に少なかった。今後のこの観光のあり方について、さらに検討を重ねなければならぬと考えている。今後の観光振興については、震災を受けた施設の復旧等を図りながら、本村の重要な産業であるので、さらに教育旅行等を中心としながら観光は振興して参りたいと考えている。

度には繰り越すもの
 ●議員発議による「議会の議員の議員報酬等の減額に関する条例」の発議案を可決。提出者は中村芳正議員で賛成者は鈴木隆昭議員と工藤求議員
 ・地方公共団体の議会の議員および長の選挙期日等の臨時特例に関する法律の規定による任期の日までの間に支給されるべき議員報酬の額を15%削減すること

【補正予算】

●一般会計補正予算（第4号）
 ・13億7309万8千円を追加し総額55億8247万4千円とするもの。主なものは次のとおり

- ▽災害等廃棄物処理業務委託料 2億7125万円追加
- ▽北山休養宿泊施設改修工事 1191万8千円を計上
- ▽水産業共同利用施設復旧支援事業補助金 6422万円を計上
- ▽水産経営基盤復旧支援事業補助金 3億1022万円を計上
- ▽共同利用漁船等復旧支援事業補助金

●介護保険特別会計補正予算（第1号）
 ・保険事業勘定4万2千円を減額し総額4億9124万円とするもの。主なものは、職員共済組合負担金を減額

- ・3億25万円を計上
- ▽村道菅窪和野線改良舗装工事 4300万1千円を計上
- ▽平井賀漁港および机漁港施設災害復旧応急工事 2億9500万円を計上
- ▽防災行政無線線災害復旧工事費 7319万8千円を追加
- ▽小型動力ポンプ付積載車等購入 801万8千円を計上

●簡易水道特別会計補正予算（第4号）
 ・103万9千円を減額し総額1億1430万4千円とするもの。主なものは、職員の異動による人件費の減額と島越地区および羅賀地区の漏水箇所修繕料追加

●集落排水特別会計補正予算（第3号）
 ・512万2千円を増額し総額1億964万6千円とするもの。主なものは、島越および平井賀地区マンホールポンプの汲み取り手数料追加

て住民の意見を取り入れる手法で現在進めている。
 〔質問〕 村の復興にあたっての財源確保対策は。
 〔村長〕 復興にあたっては膨大な財政需要が考えられる。国県の補助制度を有効活用しながら村の負担分については後年度交付税の措置が得られる有利な起債を充当するなど財政悪化を招かないようにしなければならぬ。しかし、今後、想定外の財政需要も出てくると考えている。できるだけ財政悪化を招かない補助制度の選択に努めて参りたいと考えている。



中村 勝明 議員

〔質問〕 田野畑村災害復興計画に被災者住民の声をどのように反映させるか。

〔村長〕 被災者の声を反映することは非常に大事なことで、しかし一方では、今、被災者が置かれている状況の中で、これからの地域づくりを、白紙の状態での被災者の方々が、今の現状をより打開するためにその方に、考えが集中していると思っている。他の市町村でも白紙の状態での被災者から、いろんな意見を聞く会等催しているが、今の避難所の状況、仮設住宅の状況、雇用の問題に話が集中していくというところである。手法の一つとして一番最初に被災者の方々に、村がたたき台となる素案を作り、皆様から判断をいただくための資料を村が先に作ることで話をして了解をいただいている。現在検討委員会の中で鋭意この素案を作っている。それらが出た段階に被災者または住民の方々の意見を膝を交えて伺いたいと考えている。最終案に対しまし

〔質問〕 放射能の汚染対策について沿岸市町村の連携を図っているか。
 〔村長〕 沿岸市町村のみならず、全国的な問題である。我々としても岩手県の町村会、市長会等を通じて、県、国に今後要望をして参りたいと考えている。当面は、この町村会、市長会を通じて環境放射能測定体制の拡充あるいは県民に対する適時・適切な情報提供、関係機関・団体の連携による放射能対策の実施、農畜産物等被害への補償の4項目につきまして近日中に知事に要望することとしている。



300km以上離れた場所から戻ったボールに感激する小積さん

北海道から記念のボール届く

大震災から約4カ月がたつ7月8日、津波で流された卒業記念ボールが北海道から届きました。このボールは、音更町の住民が浜辺で拾ったもの。同町役場職員がボールに書いてあった「羅賀スポーツ少年団」の文字を便りに本村に送ってくれました。持ち主の長久保果恋さんは、現在盛岡市内の高校に通う1年生。ボールを受け取った母小積さん(46)は「津波に耐え、長旅を終えて帰ってきてくれたと思うと感激の一言です」と小さなボールを見つめていました。

東京で大盛況！「田野畑市場」

村の農村青年クラブ、漁協青年部、商工会青年部は7月23、24の両日、東京都のいわて銀河プラザで「いわて三陸田野畑市場」を開催。乳製品、野菜や海藻類などを販売しました。同部員が企画販売している復興支援Tシャツに身を包んだ11人は威勢良く客引き。訪れた買い物客は我先にと商品を購入していました。用意した約20種4,000点は2日間でほぼ完売。コンブなどを購入した坂井田圭子さん(57)＝神奈川県＝は「頑張りが伝わってきます」と話していました。



次々と買い物客が訪れ、2日間で商品はほぼ完売

オリジナルTシャツ、ポロシャツ販売中(サイズS・M・L・LL)
Tシャツ(2,500円・白・前後プリント)
ポロシャツ(2,700円・紺・前プリント)
◆問い合わせ先…村農村青年クラブ事務局(宮古農業改良普及センター 岩泉普及サブセンター ☎22-3115)



中学生が盛岡で物産販売体験

田野畑中(佐々木幸彦校長、生徒122人)の2年生47人は7月6日、盛岡市のショッピングセンターで牛乳やシイタケなど、村の物産販売体験を行いました。「いらっしゃいませー」と元気な声が会場に響くと次々に買い物客が訪れ、目当ての品を購入。用意した550個の商品は約1時間で完売しました。鈴木和子さん(63)＝盛岡市＝は「災害を乗り越え、中学生が頑張る姿を見たら胸がいっぱい。ヨーグルトなどたくさん買いました」と感動の涙を浮かべていました。



用意した商品は飛ぶように売れ、中学生もお客さんも笑顔に



指揮に集中し、真剣な表情で練習に取り組むバンドメンバー

バンドの音と心を今、一つに

田野畑小のスクールバンドは7月18日、遠野市で開催された全日本吹奏楽コンクール岩手県大会沿岸地区予選で銀賞を受賞。7月31日に一関市で開催される県大会に向け、放課後の暑い体育館には真剣な表情で練習に取り組む4～6年生48人の姿があります。バンドリーダーでトロンボーン担当の中里実保さん(6年)は「まだ自信無く演奏している人もいます。県大会では指揮に集中し、自信を持った演奏で金賞を目指します」と意気込みを話していました。



児童は狂言の立ち方、座り方、歩き方などを体験

狂言の世界を小中学生が体験

青少年劇場は6月29日、アズビィホールで開かれ、村内の小中学生約300人が日本の伝統芸能「狂言」を鑑賞しました。狂言独特の動きやせりふに、会場からは大きな笑い声。会場全体で泣き方や笑い方に挑戦するなど、狂言の世界を存分に楽しみました。最後は小学生9人がステージに上って、立ち方や歩き方などを体験。和山皓輝君(5年)は「動きとかは面白かったけど、座り方がとても難しかったです」と話していました。

仮設住宅が完成し入居も完了

4月8日から進めてきた仮設住宅の建設。5月中には高校50戸、中学校94戸の各団地が完成。残っていたアズビィ団地42戸は6月28日に完成し、7月2日に入居する皆さんに鍵が手渡されました。鍵を受け取ると、さっそく避難先やアズビィ避難所から、荷物を運び入れていました。これまで親類宅に身を寄せていた三浦純二さん(50)＝島越＝は家族で荷物の運び入れに汗を流していました。仮設住宅が完成したことで、7月4日にアズビィ避難所は閉鎖しました。



荷物を仮設住宅に運び込む三浦さん家族。「僕もお手伝い」と啓史郎君(小4)

お知らせ

震災関係お知らせ

ストーブの持ち主を捜しています

東日本大震災の際は、村の皆さんから避難所で使用するストーブの借用に協力いただきました。現在は返却作業を進めていますが、記名漏れなどで返却できないものがあります。心当たりのある人は、教育委員会にお問い合わせをお願いします。

◆問い合わせ先…教育委員会 (☎34-2226)

災害援護資金を貸し付けます

大震災で世帯主が負傷した世帯や住居、家財、自家用車に被害を受けた世帯に対し、生活の立て直しに必要な資金の貸し付けを行っています。詳しい内容は問い合わせてください。

◆対象世帯…①震災日に村内に住居登録していて、被災した世帯②村民税における世帯の総所得額が規定額未満の世帯
◆貸付限度額…被災の状況により150万円～350万円

◆金利…
・保証人有り…無利子
・保証人無し…年1.5%
(据置期間中は無利子)

◆償還期間…13年(据置6年)
◆償還方法…年賦または半年賦
◆提出書類…借入申込書(役場で配布)、保証人の源泉徴収票(保証人有りの場合)、医師の診断書(世帯主が負傷した場合)

◆申込期限…平成30年3月31日
◆申し込み・問い合わせ先…復興対策室(☎34-2111 内線69)

津波映像を提供してください

村は、大震災当日の津波映像を収集しています。映像は村の防災や復興の検討、将来へ伝承していくための貴重な資料。津波の動画や写真を持っている人は、村への提供をお願いします。

◆収集映像…動画、写真。撮影者の理解を得たものに限り
◆記録媒体…CD、DVD、SDカードなどにコピーして提供ください。コピーが難しい場合は問い合わせてください
◆提供・問い合わせ先…復興対策室(☎34-2111 内線68)

被災地への住宅建築自粛をお願いします

津波で被災した場所は危険です。被災地には住宅を建築しないよう、協力をお願いします。

◆問い合わせ先…復興対策室(☎34-2111 内線64)

火葬費用を精算します

県は、大震災による被災者などの火葬費用を精算します。申請に必要な書類などは、問い合わせてください。

◆精算対象…沿岸市町村で死亡、または被災し、3月11日から5月10日までにいった火葬
◆対象経費…ひつぎ、骨箱、火葬場使用料など(葬儀費は対象外)
◆申請期限…11月30日(水)
◆受付時間…土日祝日を除く午前9時～午後5時
◆問い合わせ先…県庁県民くらしの安全課(☎019-629-6876)

被災地で回収した写真返却中

大震災の被災地から回収した写真はアズビィ学習センターに保管し、持ち主に返却しています。心当たりのある人は、写真の確認をお願いします。

◆期間…8月31日(水)まで
◆時間…午前8時30分～午後5時30分
◆場所…アズビィ学習センター
◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

その他のお知らせ

農委選の立候補届出説明会開催

9月19日(月)に投票を行う農業委員会委員選挙の「立候補届出説明会」を次のとおり開催します。

◆日時…8月31日(水)午前10時～
◆場所…役場第1会議室
◆問い合わせ先…選挙管理委員会(☎34-2111 内線91、92)

日本脳炎予防接種の期間緩和

平成7年6月1日から19年4月1日生まれの人は、日本脳炎予防接種を全て受けていない場合があります(通常4回)。母子手帳の確認をお願いします。未接種の場合、20歳前までは接種を受けられます。希望する人は、保健福祉課にお問い合わせください。平成23年度は、通常の対象者の3・4歳児に加え、小学3・4年生に案内をしています。この年齢以下の人には来年度以降、順次案内します。

◆問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

村議選の立候補届出説明会開催

大震災の影響で延期していた村議会議員選挙は、8月28日(日)に投票を行います。これに伴う「立候補届出説明会」を次のとおり開催します。

◆日時…8月8日(月)午前10時～
◆場所…役場第1会議室
◆問い合わせ先…選挙管理委員会(☎34-2111 内線91、92)

出稼ぎ者の健康診断を実施

村は、出稼ぎ者を対象に健康診断を実施します。お盆で帰省する人は受診してください。

◆期日…8月17日(水)
◆受付時間…午前11時～11時30分(時間は厳守願います)
◆対象…出稼ぎ手帳の所持者
◆持ち物…健康保険証
◆受診料…自己負担となります ※8,920円までは助成
◆申込期限…8月15日(月) ※当日の申し込みは受け付けません
◆申し込み・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線25)

岩手県に就職しませんか

働ふるさといわて定住財団では、首都圏在住のU・Iターン希望者や県内企業への就職を目指す学生を対象に、就職面接会を開催します。

◆日時…8月28日(日) 午後1時～4時
◆場所…中野サンプラザ8階(JR中野駅北口)
◆内容…県内参加企業との個別面談、各種職業相談など
◆問い合わせ先…働ふるさといわて定住財団(☎019-653-8976)

人間ドックに助成金を交付

◆対象…40～74歳で人間ドックを受診した人。(全ての医療機関での受診が対象です)
◆助成額…課税状況により1万～2万円(3年に1回の助成)
◆申請方法…検診結果の写しに領収書または受診証明書を添えて、保健福祉課に申請
◆開始日…8月1日(月)以降の受診分
◆問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

手作り絵本を展示します

◆期間…8月18日(水)～21日(日)
◆時間…午前9時～午後5時
◆場所…アズビィ図書室
◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

花火などの取り扱いに注意

本格的な夏を迎え、花火やお盆の松明かしなどで火を使う機会が多くなります。花火は誤った使い方をすると、やけどや火災につながります。水バケツなどを準備してから遊びましょう。

大地震の余震も続いています。仏壇の線香やろうそくが倒れないように注意してください。火の取り扱いに十分注意し、火災を起こさないようにしましょう。

◆火遊びの注意…①人や家に向けない②燃えやすい物のそばで遊ばない③消火用の水を用意する④大人と一緒に遊ぶ⑤筒物花火は途中で火が消えても中をのぞかない
◆問い合わせ先…消防田野畑分署(☎34-2100)

人口と世帯		火災	
7月1日現在()は前月比		(6月21日～7月20日)	
人口	3,900人(-19)	火災の【今月】	0件
男	1,917人(-11)	発生件数【今年】	1件
女	1,983人(-8)	無火災の連続記録	(7月20日現在) 81日
世帯	1,445世帯(-5)		

自衛官の採用試験を実施

◆種目・受験資格
①航空学生…21歳未満で高卒または卒業見込みの男女
②一般曹候補生…18歳以上27歳未満の男女
③自衛官候補生…18歳以上27歳未満の男女
◆申込期限…9月9日(金)
◆試験日・場所
①9月23日(金)・宮古市
②9月17日(土)・宮古市
③男子・9月17日(土)・宮古市
女子・9月28日(水)・滝沢村
◆問い合わせ先…自衛隊宮古地域事務所(☎0193-63-3881)

警察官と警察事務を募集

平成24年4月1日採用予定の警察官Bと警察事務Ⅱ種・Ⅲ種の採用試験を実施します。

◆種目・受験資格
①警察官B(男38人、女4人)…昭和57年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人(大学卒業者除く)
②警察事務Ⅱ種(4人)…昭和60年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた人
③警察事務Ⅲ種(2人)…平成2年4月2日から6年4月1日までに生まれた人(大学卒業者除く)

◆申込期限…8月31日(水) ※電子申請は8月19日(金)
◆1次試験…9月25日(日)・宮古市や久慈市など県内7カ所
◆問い合わせ先…県人事委員会事務局(☎019-629-6241)、田野畑駐在所(☎33-3110)、ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/~hp0802/>

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課（8月19日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 この夏、全国や世界に挑む下机司君と畠山玄君。その競技はハンマー投げと何？
A) バレーボール
B) ミニバスケットボール

Q2 8月10日から運用開始するジェイ・アラート。放送が流れた時はどのように行動する？
A) 落ち着いて行動する
B) とにかく逃げる

Q3 7月10日、田野畑中で行われた大震災犠牲者お別れ会には約何人が出席した？
A) 約1,000人
B) 約800人

■前号(7月号)の正解
Q1→A、Q2→A、Q3→B
■当選者(敬称略)
佐藤里江(甲地)、牧原喜孝(大芦)、熊谷正初(猿山)、熊谷タマ(花巻市)、阿部町子(盛岡市)

おめでた おくやみ

[平成23年6月届け出分]
(一部敬称略)

- 生まれた赤ちゃん
佐藤 香子(かこ)ちゃん 剛・和子 田野畑
小原 瑠月華(るは)ちゃん 之弘・美香 羅 賀
中村 紹鵬(あきとも)くん 琢雄・奈津恵 羅 賀
熊谷 陸希(りくと)くん 尚之・亜冴美 大 芦
小松山 勝海(かつみ)くん 博史・昌子 机

- ご冥福をお祈りいたします
工 藤 登 喜(52) 島 越
上 机 ミ ツ(90) 机
熊 谷 キ ネ(85) 浜岩泉
畠 山 鐵 也(78) 羅 賀

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口申し出て下さい

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

1611万7,449円 (7月20日現在)

315件(村内82件、県内107件、県外126件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111 内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：8月1日(月)～31日(水)

月 日	行 事	場 所	時 間	問 い 合 わ せ 先
8月1日(月)	村民税1期・国保税1期納期限 後期高齢者医療保険料1期・介護保険料2期納期限			税務課(内線31・32) 生活環境課(内線21・22)
8日(月)	定期健康相談 村議会議員選挙立候補届出説明会	保健センター 第一会議室	10:00～11:30 10:00～	保健福祉課 選挙管理委員会(内線91・92)
12日(金)	診療所休診(～16日(火)まで)			診療所
15日(月)	第50回村成人式	アズビィホール	9:30～10:30	教育委員会
17日(水)	幼児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課
22日(月)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	保健福祉課
28日(日)	村議会議員選挙投票日	村内各投票所	7:00～18:00	選挙管理委員会(内線91・92)
31日(水)	村農業委員会委員選挙立候補届出説明会	第一会議室	10:00～	選挙管理委員会(内線91・92)
	固定資産税2期・国保税2期納期限 後期高齢者医療保険料2期・介護保険料3期納期限			税務課(内線31・32) 生活環境課(内線21・22)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 診療所☎33-3101 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

期間：8月24日(水)～26日(金)

- ◆はまぎくコース(机・北山方面)

月 日	場 所	時 間
8月24日(水)	北山地区総合センター	10:30～10:45
	拓心館	10:55～11:15

- ◆たんぼぼコース(浜岩泉方面)

月 日	場 所	時 間
8月26日(金)	佐藤進氏宅付近	9:20～9:35
	望洋館	9:45～10:00

- ◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方面)

月 日	場 所	時 間
8月26日(金)	産直プラザ尾肝要	10:30～10:45
	農村環境改善センター	10:55～11:10
	甲地公民館	11:20～11:35

はまなす 掲 示 板

アズビィ楽習センター図書室
8月13日(土)～16日(火)
お盆期間は休室です

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)



村の復興に向け、私たちと一緒に頑張ろう!

求む、熱意あふれる若人

村と広域行政組合の 職員採用試験を実施

平成24年度採用予定の「田野畑村職員」と「宮古地区広域行政組合職員」の採用試験を実施します。受験を希望する人は忘れずに申し込んでください。

事務局技術職員

広域行政組合職員

- ◆職種：初級電気・1人(ごみ・し尿処理、リサイクル施設全般の管理)
- ◆受験資格：昭和56年4月2日以降生まれ。高校以上の電気工学科学部・学科を卒業、卒業見込みの人。または電気主任技術者の有資格者
- ◆受付期限：8月19日(金)
- ◆受験手続き：申し込み用紙を提出してください。用紙は広域行政組合事務局と宮古市役所、管内各町村役場で配布しています

消防職員

- ◆職種：初級消防・8人以内
- ◆受験資格：昭和61年4月2日以降生まれで、高校卒業以上の学歴を有する人。消防職員として
- ◆申し込み・問い合わせ先：宮古地区広域行政組合事務局総務課(〒027-0000 宮古市千徳14-121-5 ☎0193-64-2011)
- ◆最終試験：11月、消防本部庁舎
- ◆申し込み・問い合わせ先：宮古地区広域行政組合消防本部総務課(〒027-0072 宮古市五月町2-1 ☎0193-71-1193)

- ◆職種：初級事務・若干名
- ◆受験資格：昭和52年4月2日以降に生まれた人(学歴、性別は問いません)
- ◆受付期限：8月18日(木)
- ◆受験手続き：申し込み用紙を提出してください。用紙は役場総務課で配布しています。用紙を郵送で請求する場合は、あて先を明記した返信用封筒(A4サイズ、120円切手を貼付)を

- ◆申し込み・問い合わせ先：村役場総務課(〒028-8407 下閉伊郡田野畑村田野畑143 ☎0194-34-2111 内線11)
- ◆2次試験：10月下旬、村役場個人面接試験などを実施予定
- ◆申し込み・問い合わせ先：村役場総務課(〒028-8407 下閉伊郡田野畑村田野畑143 ☎0194-34-2111 内線11)

職務遂行に必要な身体、体力を有し健康な人



地域の安全を共に守ろう!

消防田野畑分署
金澤光消防士☎
田代寛八消防士

8月28日(日)

村議会議員選挙
投票日

23日(火)告示

大切な一票

投じてください あなたの

村議会議員選挙の投票日は8月28日(日)。私たちの生活に密接な選挙です。輝く未来のため、あなたの確かな一票を投じてください。

投票できる人

- ① 満20歳以上(投票日現在)の日本国民
- ② 村に3カ月以上住民登録し、選挙人名簿に登録されている人

投票は午後6時まで

投票は、投票所入場券に記載されている投票所(村内20カ所)で行います。投票時間は午前7時から午後6時までです。

期日前投票の利用を

投票日に用事などで投票所に行けない場合は、期日前投票を利用してください。

◆ 期日前投票ができる場合…仕事、旅行、冠婚葬祭など

◆ 期間…8月24日(水)～27日(土)

◆ 時間…午前8時30分～午後8時

◆ 場所…役場村民談話室

◆ 持参する物…投票所入場券(裏面の期日前投票宣誓書に、名前などの必要事項を記入)

◆ 問い合わせ先…選挙管理委員会
(☎ 34-2111 内線91、92)

投票所はこちら

投票区	投票場所
1・田野畑	田野畑地区公民館
2・沼袋	農村環境改善センター
3・羅賀	高校仮設団地集会所
4・大芦	浜岩泉地区公民館
5・島越	中学校仮設団地集会所
6・七滝	七滝地区公民館
7・猿山	猿山地区公民館
8・机	拓心館
9・池名	池名地区公民館
10・甲地	甲地地区公民館
11・北山	北山地区総合センター
12・田代	田代地区公民館
13・西和野	アズビィホール
14・切牛	望洋館
15・真木沢	真木沢地区公民館
16・明戸	明戸地区公民館
17・巢合	巢合地区公民館
18・千丈	千丈地区公民館
19・尾肝要	尾肝要地区公民館
20・板橋	板橋地区公民館

わが家の アイドル



佐藤 悠月^{ゆづき}くん(1歳7カ月)
父・明彦さん、母・絵美子さん=田野畑=

お母さんからのひとこと

いつもおもちゃの鉄砲で遊んでいます。頑固者で意地っ張り、よく笑う子です。少し風邪をひきやすいので、健康で元気に育ててほしいですね。



編集ごぼれ話

7月18日、遠野市で開催された全日本吹奏楽コンクール岩手県大会沿岸地区予選。田野畑小スクールバンド、456年生48人は、息の合った迫力の演奏で銀賞を受賞。金には届きませんでした。子どもたちの一生懸命な姿は金以上に輝いて見えました▼その会場で、村出身の女性と約15年ぶりに再開。たった1年でしたが仕事を教わったり、一緒にバレーボールをしたりした、私にとってはお姉さんみたいな存在の人。「田野畑のことが気になってすぐに駆け付けたかった。でも、なにもできない自分が…」と涙を流す女性。その気持ちと再開のうれしさで涙があふれる私。コンクール会場というのを忘れ、2人で大泣きしてしまいました▼3月11日の大震災以降、村には村内、県内、全国、海外からさまざまな支援が寄せられています。村のことを思ってくれる人がたくさんいます。世界中が助け合っただこの数カ月。この優しい心がずっとずっと続くことを願わずにはられません。
(政策推進課 佐々木和也)

がんばろう!日本 がんばろう!東北 がんばろう!岩手 がんばろう!田野畑